



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

インスピレーションになろう

平成31年4月16日(火)/20日(土) 第2880/2881回 例会 (本年度第30/31回)

創立 **60** 周年
2019年
4月20日(土)

4月30日(火)	祝祭日休会
5月7日(火)	祝祭日休会
5月14日(火)	孟宗汁家族例会
5月21日(火)	インフォーマルミーティング



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

会長あいさつ

会長/武田啓之

◆鶴岡ロータリークラブ60周年式辞◆



少雪だったとはいえ、寒かった冬も通り過ぎ、桜の花も満開の中にあって、木々の萌える季節がやってまいりました。時代はもう1週間あまりで平成から令和に変わろうとしている本日、鶴岡ロータリークラブ創立60周年記念式典

を開催するに当たり、公私とも大変お忙しいところ、国際ロータリー第2800地区ガバナー上林直樹様、記念講演を頂きます元国際ロータリー会長ヴィチャイ・ラタクル様、国際ロータリー第3350地区ガバナー補佐スペンソン・智江美様、2018~19年度ガバナー会議長松阪順一様、鶴岡市長皆川治様はじめ、多数のご来賓の方々そして遠く鹿児島西、会津若松南、東京東江戸川ロータリーの各姉妹友好クラブの方々、地区内外から多くのロータリアンの方々のご出席を賜り、会員一同心から感謝し歓迎申し上げます。

ヴィチャイ・ラタクル元RI会長様におかれましては、ご高齢にもかかわらず、遠路はるばるの御来庄に深く感謝申し上げます。

鶴岡ロータリークラブは、昭和34年(1959年)6月9日にハロルド・T・トーマス国際ロータリー会長

年度に、山形ロータリークラブ、山形西ロータリークラブをスポンサークラブとして、県内7番目、庄内地方では初めてのロータリークラブとして誕生致しました。

以来60年、「奉仕の理想」の実現に向けた歴史を刻んでまいりました。これもひとえに歴代の先輩ロータリアンをはじめ、関係各界の皆様のご指導とご協力の賜物であり、改めて深く感謝と敬意を申し上げます。

この歴史の中で4名もの地区ガバナーを排出すると共に、鶴岡東高等学校インターアクトクラブ並びに鶴岡ローターアクトクラブのホストクラブとして地域の青少年の育成並びに青年アクターの成長支援など様々な地域社会へ貢献する奉仕・展開を図ってまいりました。

アナログからデジタルへ変革した30年間の平成時代はクラブにとって半分に相当する年月となりますが、その間、人口減少をはじめとする地域の環境は確実に変化してきました。しかし、どんな環境変化の中にあっても「4つのテスト」をはじめとするロータリー精神は変わることはありません。年号が令和に変わるこの60周年を一つの礎として、5年、10年、その先へと確実に歴史を紡いで行きたいと思っております。

今後とも、皆様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。



ヴィチャイ・ラタクル元RI会長の記念講演『永遠なる発展を！』～ロータリーは誰のために必要なのか～

出席報告

会員数	31名
出席	28名
出席率	90.32%
前回回確定出席率	80.65%

■RI会長 バリー・ラシン ■地区ガバナー 上林 直樹
 ■会長/武田啓之 ■副会長/佐藤詩郎 ■幹事/阿部純次 ■会長エレクト/菅原成規
 ■会報委員会/樋渡美智子・真島吉也・迎田 健・高橋弘美

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376



ヴィチャイ・ラタクル元 RI 会長歓迎会 ～華夕美日本海にて～



フィナーレ ～手に手つないで～



創立 60 周年記念事業 ～西郷南洲翁レリーフ 鶴岡市へ寄贈～

平成31年4月21日(日)午前10時から鶴岡ロータリークラブ創立60周年記念の行事として西郷南洲翁のレリーフを鶴岡市に寄贈するというので除幕式が鶴岡市長皆川治様、致道博物館長酒井忠久様、菅家当主 菅秀二様、庄内南洲会理事長 水野貞吉様、彫刻家(鶴岡市出身)加藤豊様、鶴岡ロータリークラブ会長 武田啓之様のご出席を受け「敬天愛人」碑がある(当クラブ30周年記念行事の時建立)隣に建立されご挨拶として皆川鶴岡市長、酒井館長、彫刻家加藤氏、各氏からそれぞれ御礼とお祝いと作成行程などのお話があり、庄内日報様からの取材の方も来ていただき、鶴岡ロータリークラブ会員も20名余の参加もあり、ローターアクトの会員も加わり、盛大に行われ無事終了した。当日は満開の桜の時期となっており、晴天にも恵まれ除幕式にふさわしい日となり記念すべき素晴らしい時を過ごすことが出来た。

(情報委員会 阿蘇司朗)

